

お伊勢さまと氏神さま・鎮守さまのお神札をおまつりしましょう

◆お伊勢さまのお神札

「お伊勢さま」と親しまれております伊勢の神宮は三重県伊勢市に鎮座しています。その伊勢の神宮には百二十五社のお宮がある中で、天照大御神をおまつりするものが、皇大神宮（内宮）です。



この天照大御神のお神札が「神宮大麻」であり、毎年地域の神職や総代さん等を通じて全国のご家庭にお配りしています。

天照大御神は、皇室の祖先神であり、私たち国民の総氏神です。地域をお守り下さるのが氏神さまですが、総氏神とは広く日本全体をお守り下さるすべての神社の中心の神様です。

神宮大麻は明治天皇の思し召しによって神宮より全国に配布することとなりましたお神札です。皇室の繁栄、五穀豊穰、国家安寧を祈願しており、全国のご家庭でおまつりいただくべきお神札です。このお神札とは別に、神宮内にてお受けできるお神札があります。こちらは個人の祈願に合わせてお受けいただくお神札となります。

◆お神札のまつり方

お神札は明るく清らかなところで、目の高さより少し上におまつりしましょう。お神札が南か東に向くのが

一般的ですが、家の間取りによっては、おまつりするのにふさわしい場所であれば良いでしょう。

お神札は神棚におまつりすることが望ましいですが、神棚のないご家庭ではタンスや書棚を清めて白い紙を敷いておまつりしましょう。

ご家庭におまつりいただくお神札は、国家安寧を祈る神宮大麻と地域をお守り下さる氏神社、そして個人の祈願に合わせてお参りいただく崇敬神社の三種類のお神札があります。

神棚には小型のものからさまざまな形のものがあります。お神札を横に並べておまつりする神棚と重ねておまつりする神棚の場合があり、下図を参考におまつり下さい。

また、神棚への『お供えの一例』を付けましたが、お供えいただく場合の一例であり、まずは神棚に向かって手を合わすところからはじめましょう。

日々の暮らしに感謝の気持ちを込めて

二拝（深くお辞儀を二回）

二拍手（手を二回たたく）

一拝（深くお辞儀を一回）

の作法にてお参りしましょう。



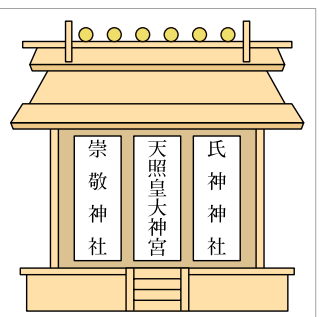
◆神宮のお祭り

神宮では年間に千数百ものお祭りが行われますが、その中で最も大切なお祭りは、その年にとれたお米をまず大御神さまにささげる神嘗祭で、最も大きなお祭りが二十年に一度行われる式年遷宮祭です。

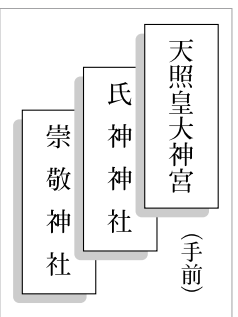
式年遷宮は、二十年ごとに御社殿を建て替えると共に、御装束、神宝も

新しく造り替えて、大御神さまに新しい御殿にお遷りいただくお祭りで、平成二十五年十月に六十二回目が行われました。

横に並べてまつる場合



重ねてまつる場合



お供えの一例



一年間お守りいただいたお神札は感謝を込めて、氏神さま・鎮守さまに納めましょう。

千五六一〇〇三三
伊勢市宇治館町一
神宮司庁
☎〇五九六・二四・一一一
<http://www.isejingu.or.jp/>

千一五一〇〇五五
滋谷区代々木一―二
神社本庁
全国神社総代会
☎〇三三・三三三九・八〇一一
<http://www.jinjahoncho.jp/>